

令和4年度10月入学・令和5年度4月入学

大学院人間文化総合科学研究科（博士前期課程）入学試験問題

【一 般 選 抜】

人間科学専攻  
心理学コース

〔専門科目〕

試験日：令和4年9月1日（木）

注 意

1. 解答は、別冊の解答用紙の所定欄に記入すること。  
なお、解答用紙の表紙には受験番号及び氏名を記入すること。
2. 総ページ数 — 3ページ（第1ページは白紙）
3. 試験終了後、この冊子は持ち帰ること。

問1 以下の英文を読み、問題に答えなさい。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

<引用元>

Bandura, A. (2008). Exercise of human agency through collective efficacy. In M.W. Schustack & H.S. Friedman (Eds.) *The Personality Reader* (2nd ed.). Boston, MA: Allyn & Bacon. Pp.190-191.

- (1) 下線部①を日本語に訳しなさい。
- (2) 下線部②を日本語に訳しなさい。
- (3) 下線部③を日本語に訳しなさい。

問2 次の(1)(2)の両方に答えなさい。

- (1) 実験法によって処遇-効果仮説を確からしく検討したい場合に、その実験が満たすべき基本的要素は何か。説明しなさい。
- (2) 探索的因子分析において、因子数を決定する際に考慮すべき点を説明しなさい。

問3 次の問題から4問を選んで解答しなさい。自分自身の研究計画、専門分野に限らず、どの問題を選択してもよい。選んだ問題番号を明記すること。

- (1) フリン効果 (Flynn effect) について説明しなさい。
- (2) Baddeley (2000) によるワーキングメモリのモデルを説明しなさい。
- (3) 「説得」のプロセスについて、2つの異なるルートを示しつつ説明しなさい。
- (4) 有機的統合理論について説明しなさい。
- (5) 非随伴性認知とは何か。それを解消するための方法についても述べなさい。
- (6) 自閉症スペクトラム障害について説明しなさい。
- (7) 関係流動性とはどのような概念か。説明対象となる現象を含めて説明しなさい。
- (8) 文脈条件づけについて説明しなさい。